

～卒業式まであと21日、終業式まであと34日～

生活指導だより
第96号

そろえる

溝辺中学校
令和6年2月21日発行

道具を大切にすること ～自分の成長につながり、感謝の気持ちを養う～



昨年のお話です。息子の高校の卒業式と卒部式のため鹿児島市内を訪れた際に「薩摩おいどんカップ」で来鹿したJR九州の選手が宿泊するホテルのロビーで、練習で使用したプロテクターを手入れしている場面に遭遇しました。手際よく土を落としたり、隅々まで丹念に磨き上げている姿に感動しました。10分くらいお話をさせていただきました。とても丁寧に対応していただいたことや野球に対する熱い思い、道具をととても大切にしていることなどが伝わりました。写真を掲載する許可もいただきました。

イチロー選手がとても道具を大切にしていたことは有名です。イチロー選手に限らず、多くのスポーツで活躍するトップ選手はとても道具を大切にします。道具を大切に扱ったとしても、それだけで技術が向上するわけではありませんが、毎日どんな状況だろうと自分の道具を大切にすること、貫き通すということは、自分自身を成長させることにはつながります。

これは、スポーツに限ったことではなく、勉強や学校生活にも当てはまると思います。生徒のみなさんには、学校で使用する道具を大切にしてほしいです。道具を大切にすることは、スポーツが上手くなったり成績がよくなったりするだけではなく、自分を成長させるために必要なことだからです。

毎日自分の使う道具を綺麗にし、大切にするという小さな積み重ねから得られることは多くあります。自分を成長させるためには、自分と向き合う時間を作ったり、感覚を研ぎ澄ますということも必要です。スポーツで使用した道具や学校の机やイス、清掃用具を大切にしたり、清掃を頑張ることで、自分と向き合う時間となったり感覚を研ぎ澄ますことにつながります。道具を大切にするというところから、自分の成長につなげるだけでなく、道具だけではなく自分や他人、周りの環境など多くのモノを大切にすることにつながってほしいと思います。

イチロー選手のことば

「道具を大事にする気持は、野球がうまくなりたいたい気持ちに通じる」

「丹念にグラブを磨くことで、一つひとつの自分のプレーにかける思いは強まり道具作りにかかわった人たちへ感謝の念が湧いた。」

「バットを地面に置かないこと。バットが芝生の水を吸うと、何億分の一かの重さや形の変化が起こってしまう。お父さん、お母さんが買ってくれた野球道具を大切にし、自分のバット・グローブ・靴を磨くこと」



「手入れしたグラブで練習したことは、体に、かならず残ります。記憶が体に残ってゆきます。」

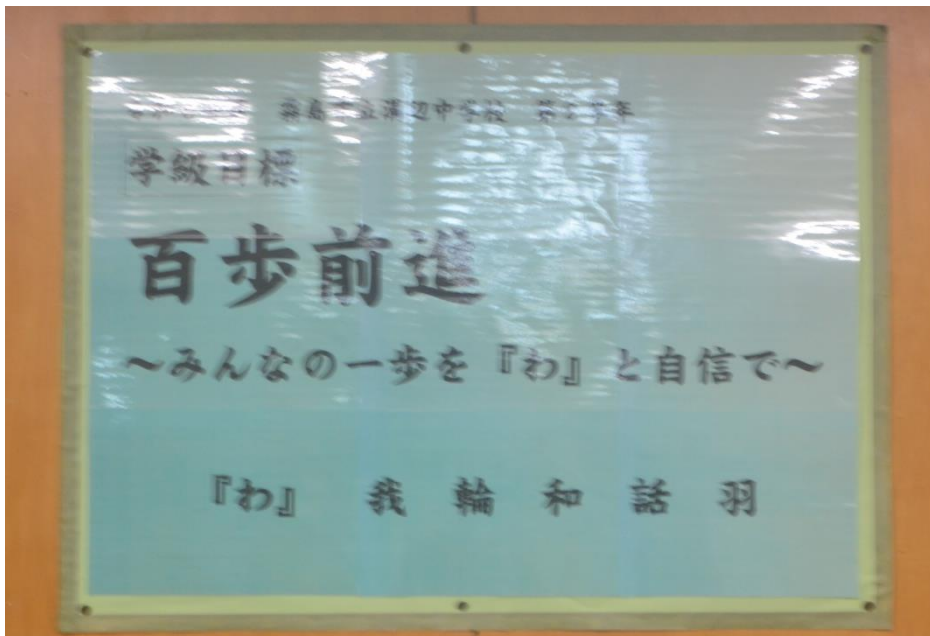
2月のそろえるは「身なり」をそろえる

初心忘るべからず

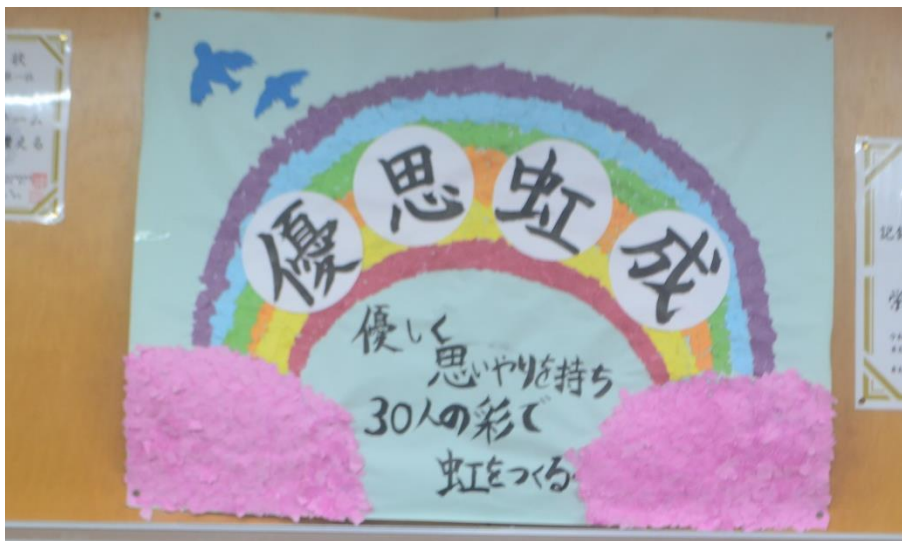
1年生



2年生



3年生



学級目標を達成して、卒業・進級しよう